

**記入例 (新規立ち上げ助成)**

※事務局記入欄

**平成29年度 あさひ ふれあい助成金申込書**

社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会会長 様 平成 年 月 日  
 平成29年度あさひ ふれあい助成金の交付を受けたいので必要書類を添付し申請します。

申請者	ふりがな	あさひ おたすけたい		ふりがな	あさひ はなこ	
	団体名	あさひ お助け隊		代表者氏名	旭 花子 印	
	代表者	住所	〒●●●-●●●● 横浜市△△区△△△町1-2-3			
		電話	○○○-○○○○	FAX	○○○-○○○○	
団体	ふりがな	あさひ たろう		住所	〒●●●-●●●● 横浜市△△区△△△丘4-5-6	
	連絡担当者名	旭 太郎		電話	***-****	FAX ***-****
	ふりがな	つる かずこ		住所	〒●●●-●●●● 横浜市△△区△△△台7-8-9	
	会計責任者名	鶴 一子		電話	△△△-▲▲▲▲	FAX △△△-▲▲▲▲
申込区分	A⑤区分		助成申込金額	40,000 円		
新規立上げ事業 助成申込事業 ※助成対象となるのは 1つの事業のみです。		送迎				
		配食				
	○	家事・生活支援	事業内容	住民支えあい(ちょこっとボランティア)		
		集いの場	事業内容			
開始時期	平成29年11月～		活動場所	〇〇地区の住民		
参加者数	サービス利用者 または障害者	100名	ボランティア	30名	その他(家族・講師等)	名
■趣旨・目的						
〇〇地区の住民を対象に、日常のちょっとした困りごと(電球の交換や話し相手、簡単な買い物や庭の草取り)を地域のボランティアが行うことで、住民同士の支えあいを構築します。						
■年間の事業スケジュール						
月	日時	内容		参加人数	備考	
11	随時	電球の交換や話し相手、簡単な買い物など		30	※訪問回数予定とする	
12	随時	電球の交換や話し相手、簡単な買い物など		30	※訪問回数予定とする	
1	随時	電球の交換や話し相手、簡単な買い物など		30	※訪問回数予定とする	
2	随時	電球の交換や話し相手、簡単な買い物など		30	※訪問回数予定とする	
3	随時	電球の交換や話し相手、簡単な買い物など		30	※訪問回数予定とする	
合計	回			150名		

# 収支予算

申込事業全体の予算額を記入してください。

## 記入例（新規立ち上げ助成）

い。）（単位：円）

科 目		予算額	説 明（内訳・算出根拠）	
収 入	あさひ ふれあい助成金	40,000	あさひ ふれあい助成金額	
	自主財源	サービス利用者の利用料 障害当事者の会費	105,000	利用料@700×延べ150件
		担い手・ボランティアの会費 等	15,000	会費@500×30名
		他からの助成金・補助金	5,000	地区社協より
		その他（ ）		
合 計		165,000	自主財源率 (>20%) <b>75.00 %</b>	
科 目		予算額	説 明（内訳・算出根拠）	
支 出	助成対象経費	コーディネーター人件費	25,000	コーディネーター人件費@5000×5か 月
		拠点整備と改修費	0	
		活動費	75,000	ボランティア活動費@500×延べ150 件
		活動場所の維持費	0	
		物品購入費 (除：食材費・飲食経費)	15,000	印刷用紙(3,000円) 軍手・ゴミ袋等活動に係る消耗品(12,000円)
		謝金	0	
		通信運搬費	15,000	電話使用代@3000×5か月
		車両経費 (事業に関わる車両に限る)	0	
		保険料	3,000	福祉サービス総合補償
	印刷費	3,000	印刷代	
小 計		136,000		
助成対象外経費	次年度繰越金	29,000		
	次年度積立金	0		
	その他（ ）	0		
	その他（ ）	0		
合 計		165,000		

\*収入・支出の合計額は同額になります。説明欄は、内訳・算出根拠も必ず詳しくご記入ください。

\*記入にあたっては、申込事業全体の予算額を記入してください。（助成対象経費以外の経費についても記入）